

令和7年度 文京区立本郷小学校 授業改善推進プラン (社会科)

		中学年	高学年
身に付けさせたい力	3年	<ul style="list-style-type: none"> ○地域における社会的事象を、自分の目によく見て考える力 ○調査活動、具体的資料を通して、必要な情報を調べまとめる力 	<ul style="list-style-type: none"> ○社会的事象に対し、調べた事実をもとに意味や願い、社会とのかかわり方を考える力 ○調べるために適した資料を収集し、必要な情報を読み取り、問題解決のために活用する力
	4年	<ul style="list-style-type: none"> ○社会的事象について、人々の工夫や努力、思いなど、学んだことから社会とのかかわり方を考える力 ○調査活動、具体的資料を通して、必要な情報を収集し、調べ、まとめる力 	<ul style="list-style-type: none"> ○社会的事象に対し、調べた事実からその意味や願いを多角的・多面的に考えることができる力 ○年表や写真などの各種資料から必要な情報を見付け、それらを比較・関連・総合して考えていく力

		中学年	高学年
児童の実態	3年	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○資料から、必要な情報を読み取ることができる児童が多い。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○社会的事象の特色や相互の関連についてなど、考えたことや判断したことを文章で記述したり、説明したりして表現することに課題がある。 ○課題を見出して、学習問題を追究することに慣れていない。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○社会的事象に対して、興味・関心をもって意欲的に調べようとする児童が多い。 ○友達との関わりによって、自分の考えを変容できるような、学びとしての対話を生かすことに慣れていない。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○資料から事実の読み取りはできる児童が多い。一方で、事実をノートに簡潔にまとめることが不十分である。 ○教師の板書をノートに写すことができる児童は多いが、自分で工夫してノートを作成できる児童が少ない。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○社会的事象を比較したり、関連付けたりして自分の考えをもつことや、社会的事象を自分事として捉えることが不十分である。 ○自分の考えを発信することに積極的な児童とそうでない児童が混在しているため、一方的な発信になる。そのため、友達と対話を通して学びを広げたり、深めたりする協働的な学び方が不十分である。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習問題を解決するために粘り強く学習に取り組む児童が多い。 ○既習事項や既存の知識などと関連付けながら学びを調整する力を有している。
	5年		

児童の実態	4年	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○与えられた資料から、必要な情報を読み取ることができる児童が多い。 ○問題を解決するために、自ら資料を収集したり情報を選択したりすることが難しい児童がいる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○調べたことをまとめたり表現したりする方に偏りが見られる。 ○課題を見出し、学習問題を追究することに慣れていない。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○社会的事象に対して、調べてみようという関心や意欲を高める児童が多い。 ○友達との関わりによって、自分の考えを変容できるような、学びとしての対話を生かすことに慣れていない。 	6年	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○歴史学習を好み、豊富な知識をもっている児童が多い。複数の資料を比較・関連・総合して読み取ったり、資料を整理して自分なりに再構成したりして、全体的な傾向をとらえることが難しい児童がいる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○資料集やインターネットを効果的に活用し、調べることができる。資料を読み取り、学習した史実から自分の考えをもつことや、判断したり表現したりすることができる児童が多い。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○興味をもって意欲的に学習に取り組もうとする児童が多く、主体的に学習を展開することができる。

		中学年	高学年	
授業改善の具体的な手立て	3年	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○問題を解決するために、自ら資料を収集することに慣れていけるように、具体的な情報を示し、提供する。ICTの活用も積極的に行う。 ○グラフや地図の見方を丁寧に押さえ、資料の見方の基礎をつくる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○単元ごとに、単元を貫く学習問題とゴールを明確に設定し、追究することによって単元の目標を実現することを持続できるように設定する。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○様々な人との対話によって、自分の考えが変容できるように、対話の視点をもたせたり、良い話し合いができているグループを紹介したりして、学び合いを活発化させる。 ○多くの児童と意見交換したり、自分との考えの相違を見付けたりしながら、相互の考えを深めることができるようにする。様々なグループで調べたり発表したりする機会を増やす。 	5年	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○情報を収集する場所や方法を示して、収集の仕方を経験したり、慣れたりすることができるようにする。 ○精選した資料の読み取る視点を明確にし、資料の読み取り方のスキルを身に付けさせる。 ○社会的事象を関連図やチャート図など様々な方法でまとめる機会を設ける。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○社会的事象について、考える時間を確保し、比較や関連付けのような思考スキルを用いながら考えられるようにする。 ○社会的事象に対して、生産者や消費者（自分）のように多角的な視点で考えられるようにして、話し合い活動を活発化させる。 ○単元末の活動として調べたことを画用紙や新聞、ICT機器などにまとめることで考えを形成し、表現力を高めていく。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○協働的な学習を積極的に取り入れたり、対話の話型を示したりすることで協働的な学びの充実を図る。

4 年	<p>【知識・技能】</p> <p>○問題を解決するために、自ら資料を収集することに慣れていけるように、収集に適した場所やもの、方法など具体的な情報を示しながら、自分で収集する機会を増やしていく。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>○単元ごとに単元を貫く学習問題を話し合っ て設定し、追究することによって、単元の 目標を実現するということを持続してい く。</p> <p>○白地図、関連図、チャート図など、様々な 方法で調べたことをまとめる機会を多く設 ける。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>○友達との対話によって、学習内容や資料の 読み取り方、まとめ方などの学習の仕方を 共有し、高められるようにする。また、そ ののための時間を確保し、交流活動ができる ようにする。</p>	6 年
--------	--	--------

【知識・技能】

- 複数の資料を比較したり、関連させたりして考えられるように、資料を精選したり、視点を明確にできるように線を引いたりして読み取りを行う。それらを図解化して整理できるようにする。
- 関連図やチャート図、年表など様々な方法でまとめる機会を設ける。

【思考・判断・表現】

- 学習計画を児童の疑問や予想を基に作成し、単元を貫く学習問題を軸にした問題解決学習を進めていく。
- 知識として知っているだけでなく、資料を根拠に社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考えられるよう、図表に整理することで自分の考えをまとめられるようにする。
- 身近な事象と比較して考える機会をつくる。

【主体的に学習に取り組む態度】

- 協働的な学習を積極的に取り入れたり、対話の話型を示したりすることで協働的な学びの充実を図る。
- 社会的事象や史実を基に、考える場面を設定し、そのことについて追究できるようにしていく。
- 教科書に載っていない内容などを取り上げ、興味関心を高めるようにする。

	中学年	高学年
3年	<ul style="list-style-type: none"> ○視点を示していくことで地域における社会的事象を、自分の目でよく見たり、調べたりする児童が多くなった。分からないことや疑問に思ったことを人に聞いたり、本やタブレットを使って調べたりすることができるようになった。 ○警察、消防、工場などの仕事について比較しながら学習し、共通点や相違点をまとめることができた。 ○学んだことを新聞やリーフレットなどに表現する学習を繰り返し行ったことにより、様々な方法でまとめる力が身に付いた。 ○出来る限り見学を行い、実物を見たり、人に聞いたりすることができた。見学できなかったものについては、ICTを活用して学習をすることができた。 ○グラフや資料から何が読み取れるのか、観点を全体で共有し、めあてを焦点化させることで、読み取る力を高められた。 ●四方位や地図記号を含め地図の読み取りの定着が不十分な児童がいるため、随時繰り返し取り組ませる必要がある。 ●事実を捉えることができる児童は多くいたが、そこから人々の思いや願いを考えることのできる児童に差が生じていたので、思考を促す手立てが必要である。 	5年
		<ul style="list-style-type: none"> ○学習問題を自分たちで作りと、常に意識できる授業の組み立てをすることで、見通しをもった問題解決的な学習をすることができた。 ○情報を収集する場所や方法を示して、収集の仕方を経験したり、慣れたりすることができた。また、繰り返し資料を読み取っていくことで資料から大切なことを読み取る力が付いてきた。 ○社会的事象について、考える時間を確保し、比較や関連付けのような思考スキルを用いたことで、自分の考えを書ける児童が増えた。 ●調べるための的確な資料を収集することができる児童が増えたが、一方で資料を収集することが難しい児童もいて二極化が起きた。始めからインターネットを活用して資料の収集をするのではなく、まず教科書や資料集といった身近な基礎資料から調べ、次に図書資料の内容を読んでから選ぶなど、課題に合った資料を適切に収集できる方法を指導していく。また、ペアやトリオ学習を取り入れることで差を埋めていく。 ●協働的な学習を積極的に取り入れたり、対話の話型を示したりすることで協働的な学びの充実を図ったが、対話的な学びで深めることができなかった。引き続き協働的な学習の場を設定していく必要がある。 ●資料やグラフの読み取りに関して二極化が見られた。基礎的なグラフで繰り返し読み取りの定着させていく必要がある。

<p>4 年</p>	<p>○47都道府県のクイズを行うことで、興味をもって学習に取り組むことができた。</p> <p>○興味を引きつけることができる多様な資料を準備したり、読み取る視点を具体的に示したりすることで、社会的事象を身近なものとしての確に理解することや、人々の思いについて考えることにつながった。</p> <p>○学習問題を学級全体で話し合い、予想をもとに学習計画を立てることで、主体的に学ぶことができるようになってきた。また、学習問題の立て方や考え方への理解が定着した。</p> <p>○単元を通した学習の流れを設定したことで、後半の調べ学習が充実してきた。</p> <p>●「問題解決のための適切な資料」を探し、活用できるようにしたい。教科書や副読本のような身近な資料を活用したのちに、個人の課題を設定し調べ学習を行った。対象を説明するのに十分な資料を収集したり、資料を活用して分かりやすく表現したりする力を身に付けさせていく。</p> <p>●友達との対話を通して、資料の読み取り方、まとめ方などの学習の仕方を参考にできるようにしたが、資料を読み取り、まとめる力には個人差が大きかった。どのように読み取り、まとめれば良いのか、良い例を紹介していくことや、同様の学習スタイルに持続して慣れることで、定着できるようにしていく。</p>	<p>○資料から事実と考えたことに分けて読み取ったり、歴史上の人物の思いを考えたりすることができた。</p> <p>○歴史分野では、その時代ごとの史実や起こった理由、社会的背景について調べ、話し合うことができた。史実の順序についても、大きな時代の流れの中で捉え、出来事の順序を簡単に整理することで理解を深めることができた。</p> <p>○ディベートでの伝え合いや新聞づくりなど様々な学習形態で学ぶことができ、児童の興味関心を広げることができた。</p> <p>●学習問題を設定する際に、問題意識をもって学習をすすめるための、矛盾や驚きある資料提示が不十分だった。</p> <p>●国際・政治分野では、児童にとっては身近に感じられるものやそうでない事例、題材があった。より身近に感じられるような事例を挙げるなどをして興味関心を高める必要がある。</p> <p>●史実を既に知っている児童も多いため、児童が自ら追究しようとしたり、多面的、多角的に考えられたりするような興味ある学習問題を設定できると良かった。</p> <p>●教師側が資料を用意し、提示することが多かった。関連する図書資料やインターネットを活用したり、児童が資料を準備したりすることで問題解決を図る学習も行ったが、学習問題から離れてしまうことがあった。ねらいを明確にし、児童がより主体的に学べるようにしていく。</p> <p>6 年</p>
----------------	---	--